

おいしいコーヒーの追求を通じて、  
信濃町の空間と時間を多くの人に提供したい。

「コーヒーは好きですか？ 好みの味はいありますか？」

「僕は『このコーヒーがおいしいから飲んでよ』と勧めるよりも、香ばしさやフルーティー感など、焙煎度を変えることで表現できるいろいろな味わいを感じてもらいたい、自分の好みを見つけてもらいたいのという思いで焙煎をしています。おいしさを押し付けるのではなく、これが本来お店のあるべき姿ではないかな」

こう話すのが、生まれ育った信濃町で暮らし、長野市で自家焙煎のスペシャルティコーヒーを提供する「Foret Coffee」の松澤岳久さん。スペシャルティコーヒーとは、農園や生産方法が明確にわかり、テイステイングにより国際基準以上の評価を獲得した高品質のコーヒーのこと。さらに近年は、飲み手がおいしいと感じなければスペシャルティコーヒーとはいえないそう、松澤さんはお客様に「さっぱりめと香ばしいタイプ、どちらが好きか」を聞き、より飲み手が求める味の提供に努めています。

もともと大手通信メーカーでメカニカルエンジニアとして活躍し、

海外勤務も経験した松澤さん。コーヒーは趣味としておいしさを追求し、特に信濃町の山や野尻湖畔などのアウトドアで飲むことを楽しんでいましたと言います。ところがある時、コーヒー豆の焙煎を体験したところ、同じ豆でも焙煎によってさまざまな味わいを表現できる面白さを実感。そして小さな焙煎機を購入して少しずつ自分で焙煎を始めると、豆のおいしさが口コミで広がり、次第に働きながら

町内のゲストハウスで週末にコーヒーを提供したりと、さまざまなお店依頼を受けるようになりました。そんなある日、知り合いのカメラマンから「朝の野尻湖の景色がいい」と聞き、早朝に一人で出かけると、朝日を眺めながら湖畔で飲むコーヒーの最高の味わいにすっかり魅了されたと言います。

「このよさを知ったからには多くの人に伝えたい。そう思って、月数回、野尻湖畔で朝日を見ながらコーヒーを飲む『朝コーヒー』というイベントを始めました」

すると人気がじわじわと広がり、多くの若者が足を運ぶようになり、同時に、知り合いになった

町での活動も継続し、朝ヨガとコーヒーの飲み比べを楽しむイベントも実施。仲間とも野尻湖でSUPに乗りながら飲むコーヒーを楽しんでいます。

京都の人気焙煎家から本格的な焙煎機を譲り受けました。

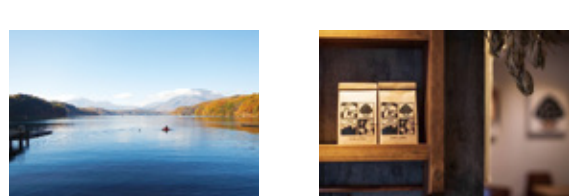
「実はなんとなく就いたエンジニアの仕事ではなく、いつか興味があることを仕事にしたいと思っていました。コーヒーは趣味で仕事にできないと思っていただけ、せっかかく見つけた好きなことなので、仕事にしたいと強く思うようになりました」

こうして2015年、意を決して脱サラし、長野市内に「Foret Coffee」をオープン。「自然のなか、大木の木陰でゆっくりとコーヒーを飲んで休んでもらいたい」との思いを店名に託しました。

「この店は信濃町のよさを表現したいと思って、大工さんや電気屋さん、建具屋さんなど、全て信濃町の人に作ってもらいました。飾ってある絵はイラストレーターさんに『Foret Coffee』をイメージして描いてもらったもの。信濃町のGOOD TIMEをここでも過ごしてほしいから」

し、善光寺に近い路面店をオープンしました。

「この店では信濃町のよさを表現したいと思って、大工さんや電気屋さん、建具屋さんなど、全て信濃町の人に作ってもらいました。飾ってある絵はイラストレーターさんに『Foret Coffee』をイメージして描いてもらったもの。信濃町のGOOD TIMEをここでも過ごしてほしいから」



Foret Coffee  
長野市東後町21 表参道式番館103  
090-2304-8231  
8:00~18:00 / 定休日:水曜日  
https://foretcoffee.thebase.in/

取材協力  
一滴 Paddle & Mountain Guide  
信濃町野尻 371-2  
090-4911-1114  
8:00~20:00 / 定休日:不定休  
https://www.itteki-guide.com/



コーヒーだけじゃない。  
GOOD TIMEを提供したい。

Foret Coffee 焙煎士  
まつざわ たけひさ  
松澤 岳久さん

